

## 優秀学術賞受賞者

	受賞者	受賞理由
第14回 (2024年)	寺井 智之 氏 (大阪大学)	3d 電子系セラミックスならびに4f 電子系金属間化合物の磁性と電気伝導特性の研究
第13回 (2023年)	植田 千秋 氏 (大阪大学)	無機材料の磁場配向に関する研究
第12回 (2022年)	大塚 秀幸 氏 (物質・材料研究機構)	鉄鋼材料における磁場中相変態メカニズムの解明と磁場による組織制御
第11回 (2021年)	藤原 好恒 氏 (広島大学) 藤原 昌夫 氏 (広島大学)	高磁気勾配型超伝導磁石を利用した磁気科学研究
第10回 (2020年)	山登 正文 氏 (東京都立大学)	磁気プロセスを用いた高分子材料制御に関する研究
第9回 (2019年)	James M. Valles, Jr. 氏 (Brown University)	高磁場による生物や生体材料のマニピュレーション
第8回 (2018年)	福田 隆 氏 (大阪大学)	無拡散型ならびに拡散型固相変態に及ぼす磁場効果
第7回 (2017年)	小山 佳一 氏 (鹿児島大学)	磁場による強磁性物質の機能性と平衡状態図の制御に関する研究
第6回 (2016年)	米村 弘明 氏 (九州大学)	スピン化学および磁場を活用した光機能 ナノ材料の創成
第5回 (2015年)	木村 史子 氏 (京都大学) 堀井 滋 氏 (京都大学)	三軸磁場配向の材料科学への応用と回折法による検証
第4回 (2014年)	Eric Beaunon 氏 (CNRS/CRETA & Universite Joseph Fourier)	反磁性物質の磁気浮上の実証と強磁場を利用した材料プロセッシングに関する研究
	若狭 雅信 氏 (埼玉大学)	化学反応における磁場効果の新展開
第3回 (2013年)	茂木 巖 氏 (東北大学)	磁気電気化学および磁気浮上の材料科学的研究

第2回 (2012年)	安田 秀幸 氏 (大阪大学)	金属合金の凝固・結晶成長過程における磁気効果の顕在化とその応用
第1回 (2011年)	岩坂 正和 氏 (千葉大学) 廣田 憲之氏 (物材機構)	磁場によるモーゼ効果の発見とその特性の解明